

産経建第1227号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

熊本県産山村長 佐藤敬助



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについては、
別紙のとおり回答いたします。

この件についての問合せ先
産山村役場経済建設課
岩下 徳行
TEL 0967-25-2213
FAX 0967-25-2864

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県産山村

国民の交通手段は、地方に行くほど自家用車主体になっているので、道路なくしては生活が出来ない状況である。その中で地方の自治体は厳しい財政状況の中で何とかやりくりしながら道路整備を細々行っている状況であるため道路整備が遅れ、緊急車両の通行等に不便をきたし住民の安心・安全の確保が出来ていない状況である。国民は平等である観点から、地方の道路整備予算は、道路特定財源一般財源化の中でも十分に確保されるよう要望する。

また、近隣の移動から遠方の移動に従って、市町村道→県道→国道→高速道路といった道路の使い方になっていると思われる。しかし、本来スムーズに通行できなければならない国道等が混雑している。これは道路沿いに住宅や商業施設が建ち並び、国道の持つ本来の都市と都市を結ぶ幹線道路の機能がなくなり、町の中の生活道路となってきたからである。このため国や県はバイパス工事において混雑を解消している。しかしこのバイパス工事をしてもすぐに住宅や商業施設が建ち並びまた機能が損なわれているように思われる。この辺のイタチゴッコを解消する為、都市と都市を結ぶ幹線道路機能として地域高規格道路整備を積極的に行い遠方の移動をスムーズにすることが現在求められている道路行政と思われる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

熊本県産山村

○現状

1. 労働力や企業の流出、税収・交付税の低迷による自治体の財政悪化などによる都市と地方の経済格差が一層拡大
2. 生活道路整備の遅れによる生活の不便から後継者が都市に移住し、地方では高齢化の進行、産業の衰退などにより、地域社会の活力が低下
3. 防災・福祉・冠婚葬祭などの面で支えあう集落機能の低下
4. 耕作放棄地が増え、森林の荒廃が進むことによる、自然災害の発生危険度が増大

○課題

1. 厳しい財政状況の中、思うように道路整備に予算をまわすゆとりがない。
2. 山間の集落が多く、道路整備が遅れており緊急車両の通行が不便である。
3. 少子高齢化に伴い、小中学校統合によりスクールバス通行が増えたが、通行の安全性の確保が課題である。
4. 村内の村道に架かる橋梁は約 90 橋あり現在耐震調査を行っているが殆どが昭和前半に架けられた橋梁であり今後補強や架け替えに莫大な予算が必要でありその財源確保が課題である。
5. グリーンツーリズム等による都市住民との交流による地域の活性化を図る中で道路整備が遅れていることによる進捗が悪いことが課題。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

熊本県産山村

地方（中山間地等の過疎地域）の価値・役割は、美しい景観や自然環境、水資源、エネルギー、食料の供給、自然災害防止などの国土保全、森林の二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止など大きく、都市と地方が共生する国土づくりが必要である。その中で都市から地方への移住・交流が生まれ国土の均等な発展が望まれるところであると思われる。その一つとして地方の道路は大きな役割を示すところでありますので、地方の道路整備を推進していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路瀬策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県産山村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他